

参考様式（別記様式第4号に添付する事業実績書（当該年度分））

事業の名称	元気印の高齢者創出事業
実施内容	<p>活動内容（いつどこで何をしましたか？）</p> <hr/> <p>1. 認知症講演会</p> <p>平成30年1月30日に下川町総合福祉センターで実施、参加者32名「札幌認知症の人と家族の会」から会長飛嶋弘子氏、事務局長大内小百合氏の二人の講話。認知症家族会の結成の経緯、活動内容、さらに認知症全般の講話があり、介護、医療含めエンディングノートを兼ねたコンパクト手帳が参加者全員に配布された。また、町立病院の方の院長から認知症サポート医としての周知後方もされた。</p> <p>2. 高齢者の話し相手サービス事業</p> <p>65歳以上の一人暮らし高齢者でヘルパー訪問や介護保険の利用対象外（グレーゾーン）の方を主に名簿作成。平成29年10月5日より開始、シニアライフカウンセラー上級紙各社の寺田律子氏と特養ホーム曙岡勤務経験（高橋水哉）氏の二人でまずは10人程度の訪問を実施、名簿作成には時間がかかったが、何とか実施することができた。</p> <p>3. 防犯地域協力隊の結成</p> <p>平成29年11月2日コモレビにて元気会員40名中11人で設置5グループに分け市街地の担当地域の見守りを開始。警察派出所とも協議、不審なことがあれば直ちに通報するなどさらに巡回時には空き缶拾いも行う。</p> <hr/> <p>参加者の反応や主な感想</p> <hr/> <p>1. 認知症講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下川町ではもっとこの種の講演会を実施してもらいたい ・グループに分けた少人数の意見交換会を希望する ・小冊子、手帳はコンパクトでとても便利、持ち歩きやすくて嬉しい ・講演会での家族会の結成をもう少し詳しく知りたい <p>2. 話し相手サービス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・90%以上の歓迎があり、取組んでよかったと感じている。 ・どこまで踏み込んでよいか難しい面がある。ただ、家族との付き合い出入りがどこまであるかは最小限必要と思われた（いざという時のため） <p>3. 防犯地域協力隊の巡回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間と冬の次期が課題であり、今後検討していきたい。

	<p>反省点やまちづくりへ向けた意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症講演会では家族会の必要性は理解できるが、今後札幌でのセミナーや講演会、さらに支援している組織などに参加し、情報収集しながら課題を検討する必要があると感じた。なお、参加者からグループに分けた意見交換会の要望があり、30年度に実施したい。また、周知方法はひかり電話の活用を考えたい。 ・ 高齢者の話し相手サービスは自宅訪問を拒否皿高田も数名いた。名簿作成をやり直しながら34名に絞った。ほとんどが歓迎されたが、30年度に向けた引き続き実施しますが、訪問時にどのような話題、そしてどこまで話してよいか悩む部分もあるが、傾聴ボランティアを基本として対応していきたい。 ・ 地域防犯巡回は、明るい時間に見回りしているが、30年度は徐々に夜間の巡回を考えていきたい。

別紙決算書（当該年度分）を必ず添付してください。
 その他、活動の実績を理解するために参考となる資料（チラシ、記事、写真、アンケート等）があれば添付してください。